



ライディングスクールレポート

Report 2010 Vol.5

ライディングスポーツガレージ

RIDING SPORTS
GARAGEスクール生が行く4耐参戦
今年の鈴鹿はとでも暑かった…

連日35℃を越える気温と、60℃以上の路面温度。これはタイヤメーカーもデータを持たないほどの過酷なコンディションだ。これ以上ない耐久レースらしいコンディションの中で鈴鹿の長い4時間がスタートした…。昨年は九州で圧倒的な強さを誇った岡村選手がスタートから順位を上げ、ス

クールたたき上げの蒲谷選手がそれをどれだけキープ出来るかがチームのポイントだった。今年はその岡村選手も国際ライダーとなり(4耐は国内ライダーしか出場できない)、蒲谷選手がエースライダーとしてチームを牽引する役目を担う。

前日の予選で中迫選手の頑張りもあり、昨年よりいい予選7位からのスタート、期待が膨らむ…。日章旗が振り下ろされ、期待通り蒲谷選手はトップ集団で走行。一周ごとに名だたるチームをコーナーで抜き去って行く。そして遂にトップを走るモリワキレーシングの背後へ! 各コーナーで右に左に仕掛けていく蒲谷選手。そして満を持してスプーンでインに飛び込む! しかしかぶせるモリワキ…ぶつかると!! 接触は何とか回避したが痛恨のコースアウト!! モニターを見ていたピットは騒然としたが、4番手でコースに復帰し安堵のため息がピットを包んだ。

その後は安定して4位走行を続け、ルーティーンのピットインのサインに準備万端で待ち受けるクルーたち…。しかし予定のタイムになってもピットロードの入り口にRSGブルーのマシンが帰って来ない…。まさかピットインの周に転倒?…。5位、6位、7位と次々に同一周回のライダーがピットへ戻ってくる。「どうした…」モニターを凝視していたクルーの目に写ったのはピットロードの入り口を惰性で走るRSGカラー。ライダーはマシンを揺らしている! 「ガス欠だ!!」クルーの悲痛な声が響いた…。ピットロードはずっと勾配が続いているので何とかたどり着いたがその頃には既に14番手まで順位は落ちていた…。「何でガス欠になるの!!」ライダーもスタッフも呆然だった。後で分かった事だが、スタート時の給油量の単純な計算ミスと蒲谷選手の思わぬハイペースが原因だった。コースの中盤では既にガス欠症状が出ていたようでもだましだまし走ってきたようだ。登り区間でもしエンジンが止まっていたらと思うとぞっとした…。しかしそこから怒涛の追い上げが始まる…。

普段'06年式のCBR600RRに乗る中迫選手は、今回4耐で使用する新

型の'10CBR600RRにどうしても上手く乗れず苦勞していたが決勝では想定以上のタイムで周回を重ねる。蒲谷選手も相変わらずのハイペースだ。3時間が過ぎ、気温はぐんぐん上昇していく。タイヤ交換が出来ないレギュレーションのため既にタイヤの消耗は限界に達していた。モニターで見るとどこかのチームも既に本来の走りが出来ていない。そして上位陣の転倒が目立ち始めた。「ペースも落とせない」「しかしタイヤはグリップしない」という4耐ならではの光景だ。そんな消耗戦を生き残りRSGは7位まで順位を回復していく。後一つで入賞! 体もマシンも限界の戦いの中、蒲谷選手が遂に6位のライダーを捕らえ入賞圏内へ。そして最終ライダーの中迫選手にたすきをわたす。「何とかキープしてくれ…」チームスタッフは祈りながらモニターを見つめた。

強い太陽が照りつける中、4時間が経過し鈴鹿のストレートにチェッカーフラグが振られた。「RSGレーシングWithフィービー 6位入賞」昨年の7位を上回る二年連続の完走を果たした瞬間だった。短いあつという間の1年だった。そして長く暑い4時間耐久レースだった。耐久レースという名の通り耐え切れないチームは消えていった。14位まで落ちた順位を6位までよじ登った訳だが、走行中に抜いたのが4台。残りの4台は全て転倒かマシントラブルだった。

鈴鹿4耐は面白い。バイクの甲子園とはよく言ったものだ。トップレベルのライダーでなくとも基本に忠実に反復練習を繰り返す事で鈴鹿でも通用する。スクールに通ったライダーを2年連続で4耐に送り込み、対等に渡り合えた事でそんな確信を持った瞬間だった。来年はどんなドラマが待っているんだろうか…。昔のように若いライダーが九州から全国へ飛び出すきっかけに鈴鹿4時間がなればと思っている…。



RSG HPはコチラ▶ http://rsg-sports.com

PICK-UP
NEWS

レンタルツナギ有ります!! レンタル料:3,000円
※数に限りがあります。詳しくは下記「RSG」にお問い合わせ下さい。
「参加したいけどツナギが無い…」ご心配なく! RSGではレンタルツナギをご用意しております。



ライディング・スポーツ・ガレージ R・S・G ショップさん主催の走行会などに、インストラクターとして、お伺いする事もできます



皆木 栄人

PROFILE

1965年生まれ。43歳。1990年国際A級ライダーへ。西日本地区チャンピオン。鈴鹿4耐、鈴鹿6耐、8耐、もてぎ7耐など10回以上参加し完走。現役時代より教えだした止まらない癖あり。

ライディング・スポーツ・ガレージ(R・S・G)代表・SPA直入インストラクターや、各種走行会・イベントを企画

R・S・G TEL:092-951-2299

福岡県筑紫郡那珂川町西隈4-1 e-mail:j-minaki@bb.csf.ne.jp



BikeBros.

詳しい御案内などはHSR九州のホームページを参照下さい。

URL: <http://www.hsr.jp/>

